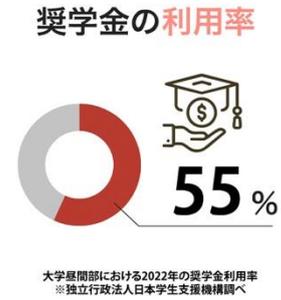
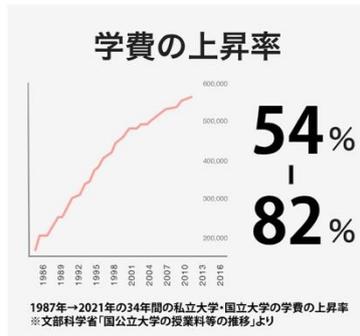
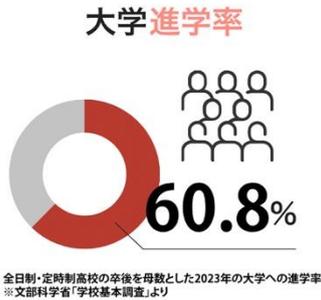


奨学金制度の現状・課題



日本における奨学金は、旧来、優秀な人材作りの一環として、1943年（昭和18年）に閣議決定され、重要な国の事業として創設されました。

直近では各校や各団体・各企業なども独自に奨学金を創設し、これまで優秀な人材作りに寄与してきました。

しかし、時代が変化していく中で、奨学金の仕組みや学校の在り方も変化してきている現実があります。

すべての奨学金とは言わないまでも、奨学金が学生にとっての“ただの借金”になっている場合も少なくありません。

この借金を抱えることで、若手人材の起業や更なる勉学へのチャレンジがし難いだけでなく、結婚や出産といったライフステージの変化にも積極的になれないケースも見受けられ、実際に自己破産者を生んでいる実態もあります。